

令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	地理歴史	単位数 (コマ数)	4単位 (4コマ)	履修年次	3年次
科目名	日本史探究	履修	選択	開講	通年
教科書	詳説 日本史	副教材	図説日本史通覧(帝国書院)・進研WINSTEP(ラーズ)		
1 学習の目標					
我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					
2 学習の方法					
① 授業について 副教材・プリントを用いて、日本史における基本的知識の定着をはかります。「なぜ、そうなったのか？」などの問いかけも随時していきます。					
② ワークについて 主にプリントとワークブック(WINSTEP)を用いて、歴史的事象における背景や原因、相互の関連性などを思考・判断する力を養います。					
③ まとめと確認 重要事項を自分自身でまとめ、それを他者に伝えることで単元の理解を深めます。					
④ 授業の際に必要なもの 副教材・プリント・プリント用ファイル					
3 評価について					
①評価の観点					
知識・技能	日本の歴史に関する事象を、その背景や原因・相互の関連性をふまえながら理解している。				
思考・判断・表現	歴史的事象について、その背景や原因・相互の関連性などについて、知識や資料を活用しながら合理的に思考し、判断する力を身につけている。また、それらを文章や図にまとめるなどして他者への確に伝えることができる。				
主体的に学習に取り組む態度	日本の歴史の枠組みと流れについて、関心と問題意識を持って、主体的に学ぼうとしている。また、他者と積極的に関わりながら理解を深めようとしている。				
②評価の方法					
材料	定期考査	プリント	ワークブック	話し合い	評価方法
知識・技能	○	○	○		左記の○のうち、定期考査を重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、状況と努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
思考・判断・表現	○	○	○	○	左記の○のうち、定期考査をやや重視しながらA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
主体的に学習に取り組む態度		○	○	○	左記の○を総括しA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
4 その他					
5 単元の目標・評価					

単元名	近世の幕開け					
単元の目標	武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	◇織豊政権の特色と意義、幕藩体制の確立過程を理解する。 ◇南蛮貿易の展開から鎖国にいたる過程について、キリスト教・諸外国の動向を関連につ		◇幕藩体制とのつながりに着目して、検地や刀狩にみられる兵農分離策を踏まえて、織豊政権の統一過程とその政策を考察できたか。		◇幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察できたか。	

単元名	幕藩体制の成立と展開					
単元の目標	江戸幕府の安定期における政治と農業・商工業などの発展、町人文化の形成を幕藩体制の安定と関連させて理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	◇江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で理解する。 ◇江戸幕府の安定期の農業・商工業などの発展について理解する。		◇文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治を取り上げ、幕政の安定過程を考察できたか。		◇元禄文化について、町人の経済的繁栄や商業活動の拡大など経済の発展や幕府の共学として発展する儒学などに着目して、文学・学問・美術を踏まえて考察できたか。	

単元名	幕藩体制の動揺					
単元の目標	幕藩体制下の欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	◇農村や都市の変容・国際情勢の変化により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を理解する。		◇幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目して、江戸の諸改革の意義について考察できたか。		◇社会の変容に着目して、この時期の学問の確立、各地に設立された教育機関の展開をとらえられたか。	

単元名	近世から近代へ					
単元の目標	日本が開国に到る背景とその影響、明治政府が国家的独立を維持しながら、中央集権的統治機構と資本主義経済を特質とする近代国家を形成していった過程を学ぶ。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	◇幕末の動乱期の経済・社会の変化の基本的な知識を習得している。 ◇明治政府が行った諸政策の目的と意義を理解している。		◇開国や外圧強まりが幕末の動乱に与えた影響について考察している。 ◇明治政府が行った諸政策の要点を説明できる。		◇開国の背景・影響について関心を持ち、幕末の動乱について学ぼうとしている。 ◇明治政府の諸政策の意義について、他者と意見を交わしている。	

単元名	近代国家の成立					
単元の目標	自由民権運動に伴う国民の政治的関心の高揚と憲法制定による我が国の近代国家としての特質を理解し、初期議会の動向や憲法制定前後の政治状況の変化を理解する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	◇自由民権運動や憲法制定についての基本的な知識を習得している。		◇自由民権運動が広く国民に広まった理由、憲法制定が与えた影響について考察している。		◇自由民権運動・憲法制定について関心を持ち、それらを通して日本の立憲政治がどう形成されたかについて学ぼうとする。	

単元名	近代国家の展開					
単元の目標	国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	◇条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係について理解している。◇国際社会における日本の立場や対外政策の変化について、基本的な知識を習得している。◇第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について理解している。		◇日清・日露戦争が起きた要因を説明できる。◇大正デモクラシー下での国民の政治意識の変化について考察している。◇急激な経済上の変化が社会にどのような影響をもたらしたかについて考察し、自分なりに考えたことを他者に説明できる。		◇条約改正や日清・日露戦争が経済・文化にどのような影響を与えたのか意見を交わしている。◇大正時代の人々の暮らしについて関心を高め、都市を中心とした市民文化について意欲的に追究している。◇大戦後の国際情勢への関心を高め、日本がどう関わったかについて意欲的に追究している。	

単元名	恐慌と第二次世界大戦					
単元の目標	国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	◇恐慌に伴う軍部の伸張と、日本が国際社会から孤立していく過程を理解している。◇アジア太平洋戦争の一連の流れとその影響について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。		◇1930年代の人々の生活について多面的に考察し、その背景や民衆の総動員の過程を適切に表現している。◇戦時下の社会の状況と占領下のアジア諸国について多面的に考察し、皇民化を進めていく過程や結果を適切に表現している。		◇1930年代の周辺諸国と国内情勢への関心を高め、日中戦争に至る経緯を意欲的に追究している。◇アジア太平洋戦争の一連の流れについて関心を高め、国民と周辺諸国の人々に及ぼした影響について意欲的に追究している。	

単元名	占領下の日本					
単元の目標	占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	◇占領下の日本でどのような改革が行われたのかについて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。		◇占領下の日本でどのような改革が行われたのか多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		◇冷戦前期の国内外の情勢への関心を高め、占領下の日本の状況について意欲的に追究している。	

単元名	高度成長の時代					
単元の目標	戦後の経済復興，高度経済成長と科学技術の発達，経済の国際化，生活意識や価値観の変化などに着目して，日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	一斉授業、ペアワーク					
活動内容	授業者による説明を行い、適宜ペアワークなどを行う。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	◇冷戦と日米安保体制について基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ◇高度経済成長期の国内外の情勢の変化について基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。		◇冷戦が人々にどのような影響を及ぼしたのか，多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ◇高度経済成長の背景について多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。		◇日本の独立と安全保障がどのような背景で構築されたのか，意欲的に追究している。 ◇高度経済成長期の外交や領土返還の経過，および人々の生活の変化について意欲的に追究している。	

6 年間計画					
学期	月	単元	項目	予定時数	考査
前期	4	第7章 武家社会の成長 第3部 近世 第8章 幕藩体制の確立	2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場 1. 織豊政権 2. 桃山文化	30	前期中間考査
	5	第9章 幕藩体制の展開	1. 幕藩体制の成立 2. 幕藩社会の構造 3. 幕政の安定 4. 経済の発展		
	6	第10章 幕藩体制の動揺	5. 元禄文化 1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化	35	前期期末考査
	7	第11章 近世から近代へ	1. 開国と幕末の動乱 2. 幕府の滅亡と新政府の発足		
	8	第12章 近代国家の成立	1. 明治維新と富国強兵 2. 立憲国家の成立		
後期	9	第13章 近代国家の展開	1. 日清・日露戦争と国際関係 2. 第一次世界大戦と日本 3. ワシントン体制	45	後期中間考査
	10	第15章 恐慌と第二次世界大戦	1. 恐慌の時代 2. 軍部の台頭 3. 第二次世界大戦		
	11	第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代	1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和 1. 55年体制 2. 経済復興から高度経済成長へ		
	12			10	